

3期12年の経験と実績をNext Stageへ

《今期4年間の活動例》

- 2018年から2年連続市議会議員（知立市議会初）
- 日本最大の政策コンテスト「マニフェスト大賞」で、個人政策で2年連続（2020年・2021年）エリア選抜に選出
- 議会改革をけん引し、知立市議会の「マニフェスト大賞2021・優秀躍進賞」に貢献（上位35件/2,730件中）
- コロナ禍の「ピンチをチャンス」としてICT化を推進し、議会におけるオンラインの活用では、トップランナーとして、多くのセミナーで事例発表
- 市議会だより編集委員長として、紙面の大幅リニューアル

《これまでも、これからも、議会改革にまい進》

- なぜ議会改革が必要なのか？

⇒これまでの議会…わがまちの代表、支援者の代弁（前提：行政は間違えない、議会での議論は充分か？）

⇒これからの議会…市民全体の代表、政策の実現（前提：行政と議会の政策論争、善政競争で磨きあう）

- 議会改革の主要テーマ

⇒市民への情報公開、議会活動の活性化、議員同士の討議による政策の磨き上げ

- 今後の議会改革のビジョン

⇒決算審査を起点に、より良い予算編成へとつながる政策サイクルの実現

⇒政策サイクルをより市民の身近なものとするための、広報・広聴活動を活性化

⇒常任委員会の機能強化を図り、個人や会派ではなく議会としての政策提言能力を向上させる

- 議会DXの推進により、議会活動の活性化、市民への情報公開、市民の議会参画の推進を図る

⇒有事の際も活動を止めない、いつでもどこからでも参加でき、活発に議論する

《議会改革を市民福祉の向上へ》

- 議会改革の目的は、議会が市民の代表として、的確に機能するための環境整備「**議会は市民のプラットフォーム**」

- 多様化する市民ニーズを、議会としての的確に吸い上げ、市の施策（サービス）に反映させることができるよう議論して実現する「**市民との対話・交流**」



知立市議会議員 **田中たけし**



- 大規模災害やコロナ禍のような有事の際にも、しっかりと機能し、活動し続ける議会「**困ったときに頼りになる信頼される議会**」

- 常に外に視野を向け、国や県との連携を強化し、先進市の取り組みを積極的に調査し、より良い形を取り込んでいく「**前例より前進**」

- 限られた財源を有効に活用するための「**調査・議論・決断できる議会**」を目指します

《知立市の課題を精査し、前進させる》

- まずは、コロナ対策！地域経済の活性化と、市民の生命、健康を守るために尽くします

- 知立駅付近連続立体交差事業（連立事業）を始めとする「100年に一度のまちづくり」を、必ず知立市の未来へつなぐ成果として実現させます

- SDGs（持続可能な開発計画）を的確に反映させ、環境を守り、多様性を尊重する社会を目指します

